

「2024年中国・浙江大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学法学部1年 張 健奥

1. はじめに

2025年2月23日から3月9日までの2週間、私は浙江大学でのスプリングプログラムに参加しました。この留学に参加した主な目的は、中国の文化や社会を直接体験し、現地の学生との交流を通じて国際的な視野を広げることでした。留学前は海外での学びに対して漠然とした興味を持っていましたが、実際に現地で過ごすことで、具体的な学びや気づきを得ることができました。本報告書では、プログラムの内容や学んだこと、そして将来の進路への影響について報告します。

2. プログラムの内容

浙江大学での留学プログラムでは、現地の大学生との交流を行いながら、自主的に関心のある地点を巡ることを中心に様々な活動に参加しました。特に印象に残ったのは博物館巡りで、中国の豊かな歴史や文化について深く学ぶことができました。この経験を通して、日本と中国の文化的な共通点や違いについて考える貴重な機会となりました。

また、中国のサブカルチャーの中心地である上海の百联ZXを訪れる機会もありました。そこでは日本のアニメや漫画が中国の若者に与えている影響を目の当たりにし、現地の学生と日本のアニメについて語り合うことで、サブカルチャーが国境を越えた文化交流の架け橋になっていることを実感しました。

さらに、先端技術に関する体験型施設も訪問し、中国のテクノロジー発展を直接感じるすることができました。AIや自動化技術が社会でどのように活用されているかを見学し、中国の技術革新のスピードに驚かされました。加えて、中国の就職事情についても現地の学生から話を聞く機会があり、日本との違いを学ぶことができました。

3. 学外での経験

留学中は大学内での活動だけでなく、学外での体験からも多くのことを学びました。博物館では、中国の歴史や文化がどのように展示・解説されているかを観察し、日本との展示方法の違いについて考えさせられました。また、百联ZXでは日中のサブカルチャーの融合を実際に見ることができ、新しい形の文化交流を体感しました。一方で、現地の学生との交流は特に貴重な経験でした。彼らの学習意欲の高さや将来に対する考え方に触れ、刺激を受けました。中国の大学生は競争の激しい環境の中で常に自己成長を目指しており、特にキャリア形成に対する意識の高さが印象的でした。このような交流を通じて、日本の学生との違いや、自分自身のキャリアについても改めて考える機会となりました。

4. 学びと意識の変化

この短期留学を通して、私の国際理解や学習意欲に大きな変化がありました。留学前は中国人の母親の出身地である東北地方にしか触れられていなかったところ、実際に現地で過ごすことで、南方の風習と人々の気質の持つ奥深さや多様性を実感することができました。またサブカルチャーを通じた日中交流の可能性にこれまで以上に確信を感じ、これからの中国人留学生との交流に際して、この学びを活動に生かしていきたいと思います。

また、現地の学生との会話から、日本と中国の就職事情の違いを知ることができ、海外でのキャリア形成についても興味を持つようになりました。これまでは日本国内での就職を当たり前のようには考えていましたが、特に急速な発展を遂げる中国やその他海外での可能性も視野に入れるべきだと感じるようになりました。今後は長期の海外留学やインターンシップへの参加も積極的に検討したいと考えています。

5. 進路への影響

この留学経験は、私の進路に対する考え方にも影響を与えました。特に、テクノロジー分野の発展や国際的な交流について理解が促進されたことで、現在発生している、そして今後発生しうる国際的問題に対してどのような解決策を法律の観点から解決できるのかについて考えるようになりました。また、中国の就職環境について学ん

だことで、グローバルな視点でキャリアを考えることの重要性を実感しました。

今後は、より専門的な知識を身につけるために長期留学や語学学習に力を入れるとともに、国際的な人脈となることができるような、広範囲な視野を育んでいこうと思います。特に中国の文化や経済、技術発展、そして法律について引き続き学び、日中の架け橋となるような活動にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

6. おわりに

短い期間ではありましたが、浙江大学での留学は私にとって非常に価値のある経験となりました。文化の違いを直接感じ、現地の学生との交流を通じて多くのことを学ぶことができました。また、サブカルチャーやテクノロジーを通じた国際交流の可能性を実感し、今後の学びやキャリア形成に対する新たな視点を得ることができました。

この貴重な機会を与えてくださった大学関係者の皆様に心から感謝申し上げます。今回の経験を今後の学びや進路選択に活かし、さらに成長していきたいと思っています。